スカウト兵庫

2020 秋
No. 14

地区活動紹介
兵庫ローバース/輝くユース年代
　HRS 交流会～歩かざるもの食うべからず～
トピックス
　野口宇宙飛行士へ届け応援メッセージ

神戸第 16 団

神戸第 16 団スカウトの日・上進式の報告

スカウトの日（今年のテーマは「まちかどクリーン作戦」）と上進式を９月６日に実施しました。
各隊を２つの班（BVS・CS・BS・VS の混成）に分け、A 班は鈴蘭台駅周辺から、B 班は西鈴蘭台駅周辺からそれぞれ鈴蘭公園を目指して 1 時間程のコースでクリーン作戦を実施しました。普段からこの地域の方は美意識が高いとみえ、ごみは少なめでしたが、各班ごみ袋に２つ（空き缶 22 個・ペットボトル 17 本）を収集し、到着後のセレモニーでは RS 隊長から「ゴミの分別リサイクル」「レジ袋について」「“地球大好き”」の話があり、収集チーム対抗で段ボール箱を使ったリレーゲームを行いました。
その後、1973 年に 16 団から分封した 57 団が復帰し、スカウト５名・指導者２名が 16 団の一員になったことを紹介、上進式では各隊への上進セレモニー、県連ビーバーベスト章・精励章の伝達、ビーバー隊３名の入隊式を行いました。

団委員長　安藤 雅夫

神戸第 55 団

スカウトの日『地球大好き！I Love the Earth』

神戸第 55 団では９月 13 日に SDGs について勉強し、自分たちに何ができるかを考えました。
いつも通っている歩道脇の空き缶やごみを拾い、駅前の草むしり、公園の池のごみを取り除きました。
拾ったごみの処分もみんなで分担します。
暑い中での清掃活動でしたが「きれいになって気持ちいいね！」のスカウトの笑顔に元気が出ます。
お世話になっている地域のためにも清掃活動は続けていきたいと思います。

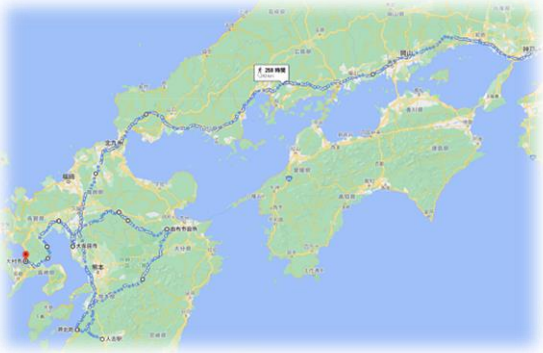
阪神さくら地区

コロナ禍の募金活動
コツコツ歩いてみんなで被災地を応援しようキャンペーン

今夏の令和２年７月豪雨災害、例年なら、すぐさま街頭に立ち募金を呼びかけ、または、被災地に駆けつけてお手伝いをするのですが、今年は新型コロナの感染防止のためできませんでした。

コロナだから仕方がないよねと片付けることもできたのですが、私たちには阪神淡路大震災の時に多くの方々に助けられた歴史があります。何かできることはないのか、と考え、web 上で募金を募ることにしました。参考にしたのは、イギリスの 99 歳の退役軍人が自宅の庭を往復して 27 億円を集めた事例です。各団・各隊が活動で歩いた距離を積算し、被災地熊本を目指すことにしました。が、地区としては初めての試みで、８月後半の開設となりました。

参加するスカウトたちには、遠く離れた芦屋と西宮で、被災地の復興を祈っている人がいることを知ってもらおう。困っている人がいたら、自分たちに何ができるかを考えようと呼びかけました。実際スカウトからは「まだ体育館で暮らしている人がいることを知ってびっくりした」との声も聞かれました。



結果的に、１０個団、延べ 230 人が参加し、約 1244 キロを歩き、熊本に到達することができました。熊本の新聞にも取り上げていただき、私たちの応援する気持ちを、わずかですが熊本の皆様にお伝えすることもできました。集まった募金は 27 億円には届きませんでしたが、日本赤十字社を通じて被災地に届けることができました。
ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

コロナに負けない!!

洲本第１団

「新型コロナ禍で、ついに活動再開しました！」

洲本第１団ビーバー隊４月の活動☆【新型コロナでおうちスカウティング】

洲本ビーバー隊は隊長のお手紙を受け取ったスカウト達が素敵な絵日記を書いて送ってくれました。みんな工夫しながら過ごしている様子がとてもよく伝わりました。そしてウェブの時代に「書いて、郵送する」というミッションは封筒に入れる、切手を貼る、ポストに入れる…といった、今の時代なかなかできない体験ができてスカウト達もまた一つ良い学びになったのではないでしょうか？
指導者一同も、一人一人の絵日記をとても楽しく見せていただきましたよ。
みんな、ありがとう。

洲本第１団ビーバー隊６月の活動☆【ついに活動再開！６月隊集会】　三熊山にて
「仮装大会　めざせカスタマイザー！」

感染対策に留意しながら無事開催。
廃材利用でみんないろんな工夫を凝らし思い思いの変身を遂げていました。
素晴らしい出来栄えでした。

◆兵庫ローバース（HRS）

HRS交流会 ～歩かざるもの食うべからず～

10月18日(日)にHRS交流会第9回「歩かざるもの食うべからず」を林崎松江海岸にて行いました。今回初参加となる4名を含め、計11名の参加でした。各出発地点から“Mission”をクリアしながら歩いたり走ったりして、ゴールの林崎松江海岸を目指しました！昨年度行われたロバコンのグランプリ「兵庫争奪戦」をCOVID-19感染対策に合わせて変更し、この活動の実施に至りました。

活動中はCOVID-19感染対策として、マスクの着用やアルコール消毒、調理担当の管理などを徹底しました。今回は、RS一年目にしてその企画運営を務めてくれた二人を紹介します！

Mission

10月17日の定例会に参加する	他のローバースカウトと一緒に参加する	公衆電話を見つけ写真を撮る	活動しているボーイスカウトを見つける
散歩している犬の名前を聞く	募金をする	スマホや万歩計で歩数を測る	手作りおにぎりを持ってくる
野良猫を見つけて写真を撮る	マンホールの絵をスケッチする	秋の花の写真をとる	自分の顔を映して出発動画を撮る
道中正しく制服を着こなして参加する	ゴミ拾いをする（5個以上）	道中に500㎖以上の水分をとる	

あまりHRSの活動に参加したことが無い中、今回初めての活動で運営側として参加しました。分からない事だらけで戸惑ったこともあったけれど、色々アドバイスを頂きながら何とかやり遂げることができました。改めて一から活動を作り上げる大変さと楽しさを感じることができ、とても貴重な体験になりました。

姫路第16団 RS隊 藤原弥侑

初めてHRSの交流会へ運営側として参加しました。わからないことばかりで、色々なことを教えてもらい、勉強しながらの参加になりました。運営側ならではの、自分たちの考えた活動に参加して楽しんでもらうことは、普段の活動とは違う楽しさがありました。また、新たなメンバーとも出会うことができ、今後もHRSの活動に参加したいです。

神戸第55団 RS隊 中村仁奈

◆県ユース委員会　輝くユース世代 Vol.6

県内のユース世代（18～30歳）の活躍する「ひと」を紹介します。
Vol.06は、令和2年度兵庫県若人の賞を受賞された桑 和資さんです。

・若人の賞とは

昭和 60 年の国際青年年を記念して創設されました。豊かな創造力と情熱を傾けながら、青少年活動やボランティア活動などに積極的に取り組んでいる青少年を表彰しています。（兵庫県HPより引用、抜粋）

・ユース世代として印象に残った活動

23回、24回と続けて、県カブラリーへ奉仕を行ったことです。前者では、プログラム部門のリーダーを務めました。各プログラムの計画書が様々なフォーマットで書かれているのを一つにまとめ上げるのは大変でした。後者では、報告書の全てを担当しました。報告書を本形式にまとめる上で必要となる、文面の構成や内容から、写真の切り貼りといったことまで様々なことをしました。

桑 和資(30)
神戸第60団
BS隊副長

・23年間活動を続けている原動力

消極的になりますが、辞める理由がないことです。人生の一部になっているのか、しばらく活動に参加しないと物足りなさを感じます。また、人との出逢いも理由の一つかもしれません。２回のカブラリーを通して、他地区のユースとも知り合いました。知り合った人とキャンプに行ったりすることでさらに仲間間の繋がりが深くなったと実感しています。

神戸垂水地区主催 ボーイスカウト体験会

９月 27 日、天候にも恵まれ、また立地条件にも恵まれたようで、神戸市営地下鉄学園都市駅前のユニバードームで開催した工作体験会は、予想以上のゲストにご来場戴き、ゲストの皆さんには 4 種類の工作にチャレンジし、大きな吹き抜けドームの中で完成品で遊び、そして完成品を持ち帰って戴いた。

スカウト 10 名、指導者 45 名及びゲスト 62 名、合計 117 名の参加を得た。

来場されたゲストの皆さんには、近隣の団から今後行われる各種ボーイスカウト活動への案内状を差し上げ、募集活動につなげていく。

神戸垂水地区 組織拡充委員会

西播地区カブラリー2020

令和２年１１月１日(日)

赤穂海浜公園

前日と打って変って晴天の下、赤穂海浜公園にて 2020 年度のカブラリーを実施しました。スカウト 51 名、体験参加者 23 名、スタッフを合せて 118 名が参加しました。 11 組に分かれ、７つの“ドラゴンボール”をゲットするラリーに挑戦！ 広い公園内のポイントをわかりにくい地図をたよりにポイントを探して右往左往！ やっと見つけてゲームをクリア、ドラゴンボールをゲット！
たくさん歩いてしんどかったけど、みんな「楽しかった！」と言える１日でした。体験のみんなが入隊してくれるとうれしいな!!

神戸地区 Web カブラリー　2020.11.1

　今年のカブラリーは、集まらないけどつながる活動。
新型コロナウイルスの影響で、昨年から計画していた内容は、一旦置いといて・・・
新しい生活スタイルも始まっています。カブラリーも集まらないけど、神戸地区カブスカウトの仲間意識を感じられるようにと、工夫しました。
今は、動き回ることができません。旅行にも行けません。では、行けるようになった時のことを考えたらええねん。
そうして、ロバートベーデン・パウエルさんを尊敬してやまない、ロバート・バームクーヘンさんからお手紙が届いたところから、ストーリーは始まりました。
「旅行に行けるようになったら、神戸に行きたいので、自慢の町を紹介してくれ」とのこと。

それならお任せあれ！カブスカウトは、自分たちの住んでいる町を自慢したくてしょうがありません。
実際に調査に乗り出し、写真撮影をしたり、地図を入手したり。
各組ごとに、画用紙 1 枚に、まとめました。
リーダーたちは、それを担当に送りますが、なにせ初めての試みですので、配信テスト、投票テスト、当日つながる手段の Zoom テストと、皆様にご協力いただき、当日を迎えました。
頼れる方々のおかげで、頼りっぱなしで、なんとか Web カブラリーが成立しました。
15 個団、36 組が参加してくれた選抜総選挙の結果は、バームクーヘンさんにお伝えしたいと思います！
Web カブラリーは、セレモニーだけの開催でした。たくさんのスカウトが 1 つの画面を通して、つながりましたが、何より、他組の創意工夫された作品を鑑賞し、行ってみたいと思える町を１つ選び、結果の出たわが町自慢は、各組の士気を鼓舞し、次につながる活動になったと思います。

阪神北地区

尼崎地区

ビーバーまつり

2020 年 10 月 18 日（日）午前　秋晴れの中、阪神北地区ではコロナ対策として伊丹・宝塚・川西猪名川と場所を分けて分散型で開催しました。
テーマは「はなれていても　みんなビーバー」
各会場にて伊丹：昆陽池 33 人、宝塚：末広中央公園 33 人、川西猪名川：猪名川総合公園 41 人 合計 107 人で共通ゲーム「ロープを超えろ！」「飛ばしてポン！」「ビーバークイズ！」を行い、参加記念品としてポーラスター〈変わり絵パズル〉が渡されました。
どの会場でも「みんなのからだをもっと元気にするために元気パワーを集めるゲームをしよう！」でスタートし、たくさんの元気が集まりました。
みんなの体が丈夫になり笑顔にあふれた一日になりました。

阪神北地区 ビーバーまつり実行委員会　能登 祐一郎

伊丹エリア
（昆陽池公園）

宝塚エリア
（末広中央公園）

川西猪名川エリア
（猪名川総合公園）

BS 尼カップ

紅葉の色づき始めた 11 月 8 日、第 4 回 BS 尼カップが尼崎大物（だいもつ）公園を中心に開催されました。
尼崎地区のボーイ隊 23 名が集まり、6 個班編成で市内南東部を中心にシティハイク。指令書に基づき途中 4 か所のポイントと 6 か所の三角点、水準点をまわるポイントラリー形式で得点を争います。それぞれのポイントでは手旗の送受信、三角巾による救急法と急造タンカの作成と搬送、簡易計測器を使って尼崎城天守の高さ計測、スカウトペースでのタイムトライアル、三角点と水準点のスケッチによる観察に加え、出発前のハイキング計画書と帰着後の報告書の作成も得点化されています。
与えられた地図を頼りに各班が次々とポイントを目指し得点を重ねていきます。いつもは通りすぎてしまう意外な場所の水準点や三角点に気づく事もあり、何より自分たちの住んでいる土地が海抜よりも低いことに驚くスカウトもいました。このシティハイクを機会に地震や津波の発生時の避難場所や、緊急対応を身に着けてくれればと思います。
制限時間を前にポイントラリーを終えた班が、大物公園に次々と帰着して報告書を提出します。何はともあれ参加スカウト全員が交通事故や怪我もなく無事帰ってきたことに主催者側はホットしました。
今回の BS 尼カップは 1 団のゾウ班がなんと 3 連覇を成し遂げました。
尼崎第 1 団ゾウ班に弥栄！

尼崎第 7 団　ボーイ隊長　平塚 裕務 記

野口宇宙飛行士へ届け応援メッセージ　姫路第８団

野口宇宙飛行士はお父さんの仕事の関係で３歳より揖保郡太子町で暮らし、小学３年生の時にボーイスカウト姫路第８団カブ隊に入隊。
小学５年生まで同町に住み、同団カブ隊に所属していました。
図書館で宇宙に関係する一冊の本に出会い、将来宇宙事業に関係した仕事をしたいと作文に書くほど宇宙にあこがれを持つ少年でした。

国際宇宙ステーション（ISS）での活動
第１回　2005年７月26日～８月９日（15日間）
第２回　2009年12月20日～2010年６月２日（164日間）

第３回の宇宙へのチャレンジを2020年11月16日から約半年間、宇宙ステーションに搭乗しミッションを行います。
姫路第 8 団のスカウトが野口宇宙飛行士へ応援メッセージを届けていただくよう JAXA 広報部にお願いし、全てのミッション成功を祈願しエールを送りました。

姫路第８団　団委員長　高木 敬三

事務局ニュース

◇ 兵庫連盟「新年のつどい」のご案内

今回の「新年のつどい」は、時節柄「講演会」と「式典」のみとさせて戴きます。「交歓会」はありませんのでご了承下さい。

日時：令和3年1月10日（日）　10:00～13:00
会場：神戸クリスタルタワー3階　クリスタルホール
　　神戸市中央区東川崎町1-1-3　JR神戸駅南側すぐ
費用：無料
申込締切：令和2年12月11日（金）
講演・講師：日本連盟理事 団支援・組織拡充委員会 委員長
　　木村 寿宏様（神奈川連盟 川崎第54団 団委員）
テーマ　①「三密を避ける」活動について
　　② 保護者と指導者の連携について
　　③「新しい生活様式」のもと、組織拡充について

事務局・スカウト用品の年末年始休業のお知らせ

日本ボーイスカウト兵庫連盟

日	12/22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
事務局	通常勤務	通常勤務	〃	〃	午前中勤務	休業日	〃	年末年始休業	〃	〃	〃	〃	〃	〃	通常勤務	〃	〃	〃	〃	（新年のつどい）休業日	祝日	通常勤務	〃
スカウト用品	宅配便受付	休業日	宅配便受付	対面販売日	午前中販売	休業日	〃	年末年始休業	〃	〃	〃	〃	〃	〃	宅配便受付	休業日	宅配便受付	対面販売日	〃	（新年のつどい）休業日	祝日	宅配便受付	休業日

※2021年1月5日（火）から事務局は、通常通り業務を開始いたします。
※休業中のE-mail又はFAXでのスカウト用品のご注文は、常時受け付けますが、お知らせ・配送は、休業後の1月5日以降となります。

令和２年度
富士章・隼章・菊章
取得者を紹介します。

富士章
前号～現在
西宮第10団　堀　秀宇
以上：１名

隼章
前号～現在
神戸第60団　田中 佑汰
神戸第60団　大虫 勲和
以上：２名

菊章
前号～現在
神戸第70団　小杉 正宗
神戸第43団　森　優斗
神戸第43団　松浦 晴斗
神戸第54団　小堀 裕輝
西宮第　1団　平田　蒼
西宮第　1団　井上 丈太郎
以上：６名

編集後記

▽今回実際に原稿を編集することで、その大変さを実感しました。
ユース委員　木下　秀平

▽紙面作りに携わる事で、県内様々なスカウティングがあることを実感しました。
ユース委員　富澤　昇太

▽自粛から戻りつつあるスカウティングをたくさんご紹介させて戴きました。次号もご期待ください。
神戸地区　三上　里香

▽今の時期、野外活動こそ、３密対策実行の見本。
神戸垂水地区　斎藤　聖一

▽今号にも多くの活動内容を寄稿して戴きありがとうございました。
姫路地区　高木　敬三

▽今号も皆さんの活動の様子を届けられる機会を与えられ、感謝です。
西播地区　加野　泰裕

▽コロナ禍で先の見通しづらい状況につき、引き続きご自愛ください。
阪神北地区　田中　いづみ

▽コロナ禍の中、スカウティングにも活気が戻ってきたように思います。寄稿戴いた皆さまありがとうございました。
はりま地区　下門　篤弘

発行元　日本ボーイスカウト兵庫連盟　ホームページ　http://www.bs-hyogo.gr.jp/
〒650－0011　神戸市中央区下山手通４丁目１６番３号　兵庫県民会館８階
電話　078－333－1781　発行責任者　組織拡充委員会 委員長　野上 一恵

そなえよつねに ボーイスカウト